

事務事業名		エコツーリズム推進事業			会計	一般会計				
					事業種別	政策	開始	16	終了	
課等名	観光課	係等名	エコツーリズム担当							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり							
目的	対象(誰・何を)	エコツーリズムを進める地域、団体、人				対象指標	指標名及び単位			24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	・地域の自然、歴史、文化、伝承芸能、地域活動、日々の暮らし等を再認識する。・資産化するために、内外の関係者による多様な連携、協働を進める。・住民主導型の					飯田市民	103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	定性目標	観光客の来訪が経済効果と地域環境保全につながっていく受け入れ体制をつくり、住みやすく、また訪れたいくなる質の高い地域をつくる。								
事業概要	<p>○平成16年度からエコツーリズム事業を進める中で、地域の資源を資産化し、なお且つ地域保全への可能性への認識が広がり、取組を始める地域や個人が増加してきた。この事業が環境保全、経済効果、及び地域活性化等へつながるものとして期待されている。</p> <p>○エコツーリズムの効果</p> <p>[1]環境保全:地域の自然環境・文化資源に対しては、それらの価値が維持されるよう保全され、または向上する。</p> <p>[2]観光振興:観光業に対しては、新たなニーズに的確に対応し、新たな観光需要を起こすことができる。</p> <p>[3]地域振興:地域社会に対しては、雇用の確保、経済波及効果、住民が地域に誇りを持つこと等により、地域振興につながる。</p> <p><山岳エコツーリズムの育成></p> <p>団塊の世代の登山者ブームに乗り、登山客やウォーカーが増えているため、山の保全と活用に向けた体制づくりが必要となっている。南アルプスの登山者増に対応するため、登山者の動向把握、山岳資源の保全と活用のルール検討、ガイドの養成、登山案内所機能の整備、宿泊や交通等との連携により、自然保全と共に、地域の活性化につなげるための、地域内連携を進める。</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 エコツーリズムを推進する地域・団体・人材の発掘、支援や普及 2 山岳エコツーリズムの育成 (1)登山者、観光客数の動向実態基本調査				1 推進、支援 2 山岳エコツーリズム (1)動向調査データ分析等			1 1式 2 (1)3カ所		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		8,098	1,861	1,859	1,283					
国庫支出金		2,211								
県支出金		3,829			266					
起債										
その他										
一般財源		2,058	1,861	1,859	1,017					
人件費計(千円)②		7,152		894						
正規職員所要時間		2,000		250						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		15,250	1,861	2,753	1,283					
事業内容・目標達成状況の振り返り	・平成23年度に引き続き、24年度は登山案内所を開所予定だったが、登山道へ向かう林道が全面通行止めになったため、案内所の運営の実施をしなかった。									
改革改善の考え方	①問題点	来訪者を受け入れることにより、地域の経済効果や環境保全が高まり、地域振興に繋がっていくには、地域内での理解や担い手の拡大が必要である。								
	②改革提案	地域内での理解者を増やすには、継続した地道な取り組みが必要である。								